

平成29年度 業種別研修 障害福祉施設職員研修Ⅰ

「障害児者の制度（経済）保障と支援のあり方について学ぶ」開催要綱

1 目的

障害児者のライフステージに応じた、経済保障を含む「制度やシステム」について学び、その制度のでき方やあり方に対しても問い返してみる機会とします。

さらに、つなげる形で、「介助者手足論」や「自己決定による自立」を超える当事者主体の共同決定／共同責任について、「現場のちから、ゆらぎ」の視点に立ち還り、「支援のあり方」そのものを共に深く考え直すことを目的とします。（講義と質疑応答・意見交換）

2 主催 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

3 期日 平成29年5月18日（木）

4 会場 三重県社会福祉会館 3階 講堂（津市桜橋2丁目131）

5 対象者 障害福祉施設職員

6 受講料 4,000円

7 講師 津市立三重短期大学 非常勤講師 脇田 愉司 氏

◆講師紹介◆ 元三重県職員（最後の7年間は障害福祉室室長）、2011年3月末で定年退職

現在は、大学非常勤講師（津市立三重短期大学、三重大学教育学部）や各種研修講師

◆著書◆ 共著書に「親密圏と公共圏のはざまにて」『「新優生学」時代の生老病死』（2008年現代書館）など。論文に、2003年「支援とは何か～その背後にあるものから～」、2009年『季刊公的扶助研究』「障害者の生活において障害者自立支援法は何だったのか」、佐賀文化冊子2016年 書肆草茫々『草茫々通信第10号』「相模原事件で、今、問われているもの」、2017年 要約筆記問題研究28号「支援とは何か～その本質と目指すもの～」その他多数。

8 スケジュール 12:30～ 受付

12:50～ 開会・オリエンテーション

13:00～ 講義Ⅰ「障害児者の制度（経済）保障について学ぶ」

- ・制度保障とは？ そのでき方やあり方を問い返す
- ・（例）障害年金や生活保護ほか、「貧困と不平等」

講義Ⅱ「当事者主体の支援のあり方を深く考える」

- ・地域自立生活の展開、（例）重度訪問介護の拡大、パーソナルアシスタンスの活用という生活支援
- ・成年後見の制度の見直し、オルタナティブへ
- ・「現場の力」「ゆらぎ」「ズレてる支援/おりあう支援」

16:00 閉会、アンケート

9 その他 ・研修当日は、受講票をご持参ください。

・昼食を本会でお取りになる場合は、各自、ゴミをお持ち帰り下さい。

・会場の駐車場には限りがございます。公共交通機関をご利用下さい。

〔お問合せ先〕社会福祉法人 三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部 富田

TEL059-213-0533/FAX059-222-0305